

Scheiner, Ethan. 2006. "Chapter 5. Local Opposition Failure in Japan" in *Democracy without Competition in Japan — Opposition Failure in a One-Party Dominant State*. pp.108–131. Cambridge.

法学研究科 D2 ソングェヒョン
宋財 洙

1 概要

目的 地方における野党の失敗の原因は何か

結論 クライエンテリズム、中央集権的な財政

2 背景

- 中央への依存度が高い日本の地方政府 (3割自治)
 - 地方の税収が全体の3~4割であるのは、先進諸国では普通 (Reed 1986)
- 量よりも質を見るべき

2.1 自民党所属のインセンティブ

- 自民党は政治的な理由のみで資源を配分していないが (Reed 2001)、地方政治家・有権者はそう信じる十分な理由あり
- 政治的な理由で資源が分配が規定される部分の存在
 - 選挙時におけるアメとムチ
 - 1960年台のデータからも確認可

2.2 自民党所属のインセンティブ (組織、候補者、有権者)

組織 選挙区全域監視・動員が困難

⇒ 相対的に規模が小さい組織は監視・動員が容易
(=動員による固定票の確認が容易)

候補者 地方の権限を考えると地方政治家がアピールできるポイントは中央とのつながり

有権者 物質的・非物質的利益の追求

- 自民党による利益誘導を認識 (JEDS96)
- 組織からの圧力
- 組織されていない有権者でも資質の高い自民党候補者に投票

2.3 地方における野党の失敗

- 全ての地方レベルにおいて自民党が強いわけではない
⇒ 農村部で強 ↔ 都市部で弱
農村部 濃密なネットワーク、高度に組織化された農民団体 (農協)
都市部 特殊利益の特定が困難、財政的な依存度が低
- それでも地方における自民党支配は強固
 - Figure 5.1, 5.2 (pp. 118–119), Online Appendix 5
 - 国政における野党の勢力 ≠ 地方における野党の勢力
 - * 国政に比べ、地方は安定

3 地方の自立性、地方における野党の成功の測定

3.1 地方の自立性指標および県議会における成功

- 本稿の主張が正しいなら、中央から自立しているほど野党が強いはず
自立性指標 財政力指数
野党の成功 県議会における野党の議席率
- Figure 5.3 (p. 122): 地方選挙7回分における両変数の相関
⇒ 右上がり関係 → 本稿の主張を支持
- JEDS96 データから確認
 - 補助金を持ってくる能力の重視 (農村3割、都市1割)

3.2 財政的裁量と野党のパフォーマンス

- 財政的に裁量の余地が大きい → 新しい政策の導入が可 (Reed 1986)
- 財政的裁量の代理 (proxy) 変数として
経済成長 高度成長期: 公害・福祉分野における革新的政策

赤字財政 高度成長期前は赤字財政で地方における革新的政策 → 高度成長期後は赤字財政を許容された自治体数 ↑ → 革新自治体数 ↓ (Figure 5.4. p. 125)

- Figure 5.5 (p. 126): 財政力指数と野党の議席率 (標準化)
 - Pearson's $\rho \simeq 0.8$
- Figure 5.6 (p. 127): 革新自治体は減ったように見えるが、相乗りも ↑
 - 地方における自民-野党の関係が強化

4 上からの政党の発達と離党行動

- クライエンテリズム・中央への財政的依存が系列関係を誕生させ、地方における党派性を規定する
- 系列関係: 国政議員 → 地方議員
 - 自民党の特徴
- 地方における系列関係の存在
 - 1993年の政権交代により自民 → 新生党の割合は国政で15%、地方では5%
 - 系列を持つ自民党の国政議員が離党する場合のみ、地方での離党が生じる
 - 選挙制度改革により選挙区の変更 → 系列関係に混乱 → 地方における新進党の躍進

5 擬似相関?

- クライエンテリズム・中央への財政的依存度 ↔ 都市化程度 ↔ 自民党の強さ
- 擬似相関の可能性は否めないが、2つの要素を考慮することによって、地方選挙レベルでの野党の失敗、時系列的な低下が説明できる。

6 結論

- クライエンテリズム、中央集権的な財政 → 地方における野党の低迷
 - 組織、候補者、有権者レベルにおける自民党支持(所属)の誘引

コメント

- 擬似相関?
 - 著者も認めているが、擬似相関の可能性がある
 - * 程度の問題だが、絶対あるはず
 - いくつかの重要な変数を統制した上で多変量解析(重回帰分析、媒介効果分析)を行わない限り、著者の主張は過大評価されている可能性がある
 - * 過小評価ならまだいいが、過大評価は良くない
- 相乗り首長が増えたなら自民党の影響力も相対的に低下するのでは…?(ないかも)
- この本が指す「地方」とは都道府県のみ?